

2008-2018年に富山湾で新たに記録した魚類

木村知晴・西馬和沙・不破光大・稲村 修（魚津水族館）

New fishes recorded in Toyama Bay during 2008-2018.

Tomoharu KIMURA Kazusa SAIBA Mitsuhiro FUWA Osamu INAMURA

Uozu Aquarium

はじめに

富山湾は本州中央部に位置し、日本海に面した外洋性内湾である。富山湾の定義は様々であるが、ここでは原則として富山県が面している沿岸海域とする。

富山湾の魚類について、魚津水族館（1997）は富山湾産魚類リストを作成して魚津水族館（以下、当館と記す）で確認した145科350種を報告している。また、南部（2013）は過去の文献などをもとに1990年代後半くらいまでの富山湾産の魚類目録を作成し、189科約595種の魚類を報告している。さらに、河野ら（2014）は「日本海産魚類目録」として、日本海沿岸各県別の魚類リストを作成し、富山県は613種と報告している。しかし、稲村（2017）は日本海産魚類目録の掲載種の中で当館が確認している魚種数を408種とし、大幅に少ないことを報告した。これは日本海産魚類目録が主に過去のリストのみの報告や図鑑などを引用しており、実物の確認ではないことが理由の一つと考えられた。また当時は、日本海産魚類目録の掲載種以外にも当館が富山湾での捕獲を確認している魚類も多数存在していたが、十分に整理されていなかった。

そこで今回の調査では、「A：過去に記録がなく、2008～2018年の間に富山湾で新たに確認された魚類」と、「B：2008年より前から捕獲されていたと考えられるが未報告の魚類（近縁種と混同されていた種や、分類

体系の変更により未報告となっている魚類）」の2つのカテゴリーについて調べ、両カテゴリー合わせて48種を確認したため、新たな富山湾産魚類の記録として詳細を報告する。

方法

調査は2008～2018年に行い、魚津漁業協同組合（JF魚津）の水産物荷さばき施設「魚津おさかなランド」で行われる朝の競りの際に確認した個体を中心に、富山県内の漁業者から提供を受けた個体や筆者らが採集した個体を記録した。魚津おさかなランドでは現地で写真撮影し、その写真を基に種の同定を行った。標本が入手できた個体は、当館内で同定や計測を行った。種の同定および分類と掲載順は、「日本産魚類検索 全種の同定 第三版」（中坊徹次編、2013）によった。

結果

今回の調査の結果、29科48種の富山湾産魚類を新たに確認した（表1）。その内訳は、カテゴリーAが27科40種、カテゴリーBが4科8種であった。

以下に各魚種の捕獲記録などを記す。また、計測できた魚類に関しては、各計測結果を記載した。

アカエイ科 Dasyatidae

カラスエイ *Pteroplatytrygon violacea*

カテゴリー：A



採集日：2016年11月10日

採集地：魚津市北中沖

採集者：高峯定置網組合

採集方法：定置網

全長：835 mm 体盤幅：388 mm

体盤長：302 mm 体重：2290g

本種は北海道太平洋沿岸，神奈川県三崎，静岡県沼津，三重県尾鷲，和歌山県串本，高知県以布利，鹿児島県笠沙，琉球列島，九州に生息する（山口ら，2013）。主な特徴は，尾部腹正中線に皮褶があるが背正中線には皮褶も隆起線もなく，体は台形に近くて吻端が平坦，体盤の腹面は暗紫色で（山口ら，2013），本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。

ウミヘビ科 Ophichthidae

セレベスヒレアナゴ *Myrophis microchir*

カテゴリー：A



採集日：2013年4月14日

採集地：魚津市経田沖

採集船：第八好栄丸

採集方法：底引き網

本種は三重県，大阪府岬，和歌山県雑賀崎・湯浅，京都府宮津湾，石川県能登，高知県須崎，長崎県志々伎湾に生息する（波戸岡，2013a）。主な特徴は，吻はやや丸く，眼の後上方に側線孔があり，尾端部付近では臀鰭のみ黒褐色で範囲が広く（波戸岡，2013a），本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。

ホタテウミヘビ *Ophichthus altipennis*

カテゴリー：A





確認日：2013年10月31日

採集場所：富山湾

提供者：富山県水産研究所

本種は東京湾～鹿児島県志布志湾の太平洋沿岸，新潟県，兵庫県浜坂，隠岐，山口県日本海側，九州北西岸に生息する（波戸岡，2013a）．主な特徴は，頭部側線孔は黒く縁取られて目立ち，背鰭前端は黒褐色で（波戸岡，2013a），本個体も同様の特徴を示した．

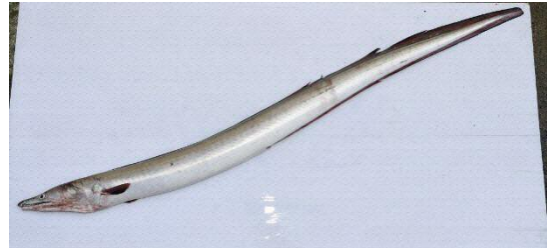
なお，当館には2011年5月31日に魚津市三ヶ沖の定置網で1個体（採集者：三和定置網組合），2012年12月3日に定置網で1個体（魚津おさかなランドで確認）が捕獲された記録が残されているが，標本や写真は確認できなかったことから，本個体が富山湾初記録となる．

さらに，2016年9月29日に魚津市沖の定置網で1個体が捕獲された．また，2017年8月30日に魚津市本町地先で1個体，2017年9月13日に魚津市青島地先で3個体，2018年7月27日に魚津市本町地先で1個体を筆者らの一人である木村が潜水調査中に目視で確認した．

ハモ科 *Muraenesocidae*

スズハモ *Muraenesox bagio*

カテゴリー：A



採集日：2018年3月26日

採集地：富山新港 水深15m

採集者：棚田啓治

採集方法：刺網

全長：1860 mm 肛門前側線孔数：35

体重：9160g

本種は北海道釧路・臼尻，青森県八戸，相模湾，熊野灘，紀伊水道，土佐湾，瀬戸内海西部，山口県日本海沿岸に生息する（波戸岡，2013b）．主な特徴は，短管状の前鼻孔は吻の前よりにあり，肛門は体の中央よりも前方で，生時胸鰭の内側は紅色，肛門前側線孔数は33～39で（波戸岡，2013b），本個体も同様の特徴を示した．

本個体が富山湾初記録である．

クズアナゴ科 *Nettastomatidae*

イトアナゴ *Saurenchelys cancrivora*

カテゴリー：A



採集日：2014年3月23日

採集地：魚津市経田沖

採集船：第八好栄丸

採集方法：底引き網

全長：473 mm 頭長：41 mm

肛門前側線孔数：25

本種は和歌山県，土佐湾，愛媛県，長崎県，中国浙江省～広東省，海南島，インド洋，アデン湾に生息する（波戸岡，2013c）。主な特徴は，後鼻孔は眼の中央前方にあり，頭長は肛門前長の42～46%，肛門前側線孔数は27～30で（波戸岡，2013c），さらに尾端の黒色部の長さがほぼ頭長に等しい（浅野，1984）。

本個体は肛門前側線孔数が25で波戸岡（2013c）の記載よりも少ないが，その他の特徴が一致したため本種に同定した。

本個体が富山湾初記録である。

サケ科 Salmonidae

マスノスケ *Oncorhynchus tshawytscha*

カテゴリー：A



採集日：2016年5月12日

採集地：射水市新湊沖

採集船：招福丸

採集方法：刺網

全長：約75 cm

本種は日本海，オホーツク海，ベーリング海，北太平洋全域に生息する（細谷，2013）。主な特徴は，体の背面に黒点が散在し，尾鰭は全面に黒点が散在し後縁は黒く縁取られ，下顎歯基底部分は黒色である（細谷，2013）。

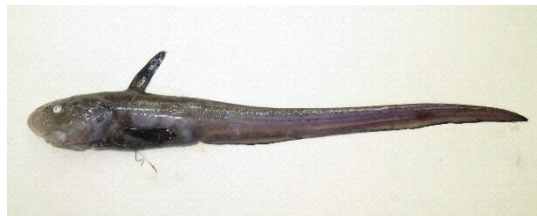
本個体は体が5つに裁断されて体の一部が取り除かれていたが，頭と尾は残っており前述の特徴が確認できたことから本種に同定した。

本個体が富山湾初記録である。

シャチブリ科 Ateleopodidae

シャチブリ *Ateleopus japonicus*

カテゴリー：A



採集日：2014年8月25日

採集地：射水市新湊沖 水深150～300m

採集方法：中層引き網

全長：795 mm 体高：102.0 mm

頭長：142.4 mm 体重：853 g

本種は鹿島灘～土佐湾の太平洋沿岸，新潟県，若狭湾，兵庫県余部沖隠岐，島根県敬川沖，山口県日本海側沿岸，瀬戸内海，沖縄舟上海盆に生息する（藍沢・土居内，2013a）．主な特徴は，腹鰭軟条数が2～3で胸鰭基部より長く，上顎に小歯があるが下顎にはなく（藍沢・土居内，2013a），本個体も同様の特徴を示した．

本個体が富山湾初記録である．さらに，2016年11月22日に魚津市沖の刺網で1個体（採集船：第八松重丸，全長：793 mm，体長：749 mm，体高：101 mm，体重900g），2018年4月23日に黒部市沖の刺網で1個体（採集船：幸洋丸，全長：842 mm，体長：819 mm，体高：110 mm，体重94.8g）が捕獲された．2018年4月23日に捕獲された個体は当館でホルマリン標本として保管している．

ナミノハナ科 Notocheiridae

ナミノハナ *Iso flosmaris*

カテゴリー：A



確認日：2008年8月13日

確認地：朝日町宮崎沖 沖ノ島周辺

確認者：不破光大

本種は新潟県佐渡～九州北西岸の日本海・東シナ海沿岸，五島列島，千葉県小湊～鹿児島湾の太平洋沿岸，八丈島，喜界島，世論島，沖縄県瀬底島に生息する（瀬能，

2013a）．主な特徴は，体は著しく側偏し，体高は頭部直後で最大，腹部は隆起縁をなし，頭部と腹部は無鱗である（瀬能，2013a）．

著者らの一人である不破は，2008年8月13日に朝日町宮崎沖において群れで泳ぐ本種を撮影した．標本は得られていないが，写真から前述の特徴が確認されたため本種に同定した．

これらの個体が富山湾初記録である．

メバル科 Sebastidae

ウツカリカサゴ *Sebastes tertius*

カテゴリー：B



採集日：2012年1月4日

採集地：魚津市沖

採集船：第8大詰丸

採集方法：刺網

胸鰭条数：19

本種は青森県津軽海峡～宮崎県の太平洋沿岸，若狭湾，山口県日本海沿岸，長崎県五島列島南西沖～東シナ海中風の大陵棚縁域に生息する（中坊・甲斐，2013b）．主な特徴は，胸鰭上半分の後縁は浅く湾入し，頬部に棘がなく，側線上方を含む体側には明瞭なふちどりのある円形小白点があり，胸鰭は18～20軟条で（中坊・甲斐，2013b），本個体も同様の特徴を示した．

本種は永らくカサゴの色彩変異とされてきていたが，Katoh & Tokimura (2001) は

別種とした。当館では2008年より前から本種を飼育している。また、2012年以降にも魚津市沖の定置網や刺網などで毎年多数の捕獲が確認されており、以前からカサゴと混在していたと考えられるが、正式な報告は今回が初めてである。

ホウズキ *Hozukius emblemarius*

カテゴリー：A



採集日：2016年8月11日

採集地：滑川市笠木沖

採集船：第八喜代丸

採集方法：刺網

本種は青森県～熊野灘の太平洋沿岸、兵庫県浜坂、山口県日本海沿岸、九州-パラオ海嶺に生息する(中坊・甲斐, 2013b)。主な特徴は、胸鰭上半部の後縁は丸く、眼窩下縁に棘があり、背鰭鰭条数は12軟条で、尾鰭後縁は截形、吻・主上顎骨・下顎は小鱗を被ることで(中坊・甲斐, 2013b)、本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。さらに、2016年8月20日に滑川市笠木沖の刺網で1個体(採集船：第八喜代丸)、2017年5月1日に滑川市笠木沖の刺網で1個体(採集船：第八喜代丸)、2017年10月10日に魚津市沖の刺網で1個体(採集船：第八松重丸)が捕獲された。

なお、本種は環境省の海洋生物レッドリ

スト(2017)において情報不足(DD)に指定されている。

※メバル複合種群

従前よりメバルには、赤色型・黒色型・白色型の3タイプの存在が知られていたが、Kai & Nakabo (2002) はいずれも形態的・遺伝的に異なる3種に分けられることを示し、Kai & Nakabo (2008) ではそれぞれにアカメバル *Sebastes inermis*、クロメバル *Sebastes ventricosus*、シロメバル *Sebastes cheni* の和名と学名を提唱した。過去に富山湾においてメバルは報告されているが(伊串・稲村, 2009a・2010a・2012; 南部, 2013)、標本や識別可能な写真が残されておらず、どの種に該当するのか不明確である。そこで、今回改めて3種を報告する。

アカメバル *Sebastes inermis*

カテゴリー：B



採集日：2011年7月16日

採集地：入善町吉原沖

採集方法：定置網

採集船：有限会社目合又大謀網

胸鰭条数：15

本種は北海道～長崎県の日本海沿岸、岩手県、相模湾～紀伊水道の太平洋沿岸、瀬戸内海東部、宮崎県に生息する(中坊・甲斐, 2013b)。主な特徴は、生時体の背面および胸

鰭は赤色からオレンジ色で、胸鰭は通常 15 軟条、臀鰭は通常 7 軟条で（中坊・甲斐，2013b），本個体も同様の特徴を示した。

本種は魚津市沖の定置網や刺網などで毎年多数の捕獲が確認されている。

クロメバル *Sebastes ventricosus*

カテゴリー：B



採集日：2011 年 7 月 9 日

採集地：魚津市沖

採集方法：刺網

採集船：第 8 大詰丸

胸鰭条数：16

本種は石川県能登半島～長崎県の日本海・東シナ海沿岸，岩手県，相模湾～紀伊水道の太平洋沿岸，瀬戸内海東部，高知県以布利に生息する（中坊・甲斐，2013b）。主な特徴は，生時体の背面は黒く腹面は銀色，胸鰭は黒色で，胸鰭は通常 16 軟条，臀鰭は通常 7～8 軟条で（中坊・甲斐，2013b），本個体も同様の特徴を示した。

本種は魚津市沖の定置網や刺網などで毎年多数の捕獲が確認されている。

シロメバル *Sebastes cheni*

カテゴリー：B



採集日：2011 年 7 月 16 日

採集地：入善町吉原沖

採集方法：定置網

採集船：有限会社目合又大謀網

胸鰭条数：17

本種は青森県～九州西岸の日本海・東シナ海沿岸，東北地方太平洋沿岸，相模湾～三重県の太平洋沿岸，瀬戸内海，有明海に生息する（中坊・甲斐，2013b）。主な特徴は，生時体の背面および胸鰭は茶色からこげ茶色で，胸鰭は通常 18 軟条，臀鰭は通常 8 軟条で（中坊・甲斐，2013b），本個体も同様の特徴を示した。

本種は魚津市沖の定置網や刺網などで毎年多数の捕獲が確認されている。

タヌキメバル *Sebastes zonatus*

カテゴリー：B



採集日：2011 年 7 月 2 日

採集地：魚津市沖

採集船：第八松重丸

採集方法：刺網

本種は北海道日高・小樽，岩手県，宮城県，

相模湾, 土佐湾, 山形県, 富山湾, 石川県能登半島, 若狭湾, 兵庫県香住, 山口県に生息する(中坊・甲斐, 2013b). 主な特徴は, 尾鰭後縁の白色帯は広く, 体の暗色横帯は明瞭で, 小暗色点はまばらであり(中坊・甲斐, 2013b), 本個体も同様の特徴を示した.

タヌキメバルとキツネメバルの異同に関しては古くから議論がなされてきた(山中・伊藤, 2014). しかし, Muto et al. (2011) は遺伝的・形態的に別種であるとしており, その中で富山湾中央部から採集したサンプルを用いている. そこで, 中坊・甲斐(2013b) は本種の生息域に富山湾を含めているが, この採集地点は石川県と富山県のほぼ中間であり, 富山県の沿岸ではない.

本種は以前から魚津市沖の定置網や刺網などで捕獲され, 魚津港に多数が水揚げされていたが, キツネメバルと区別されておらず, これまで富山県沿岸域からの報告はなかったため, 本個体が富山湾初記録である.

ホウボウ科 Triglidae

オニカナガシラ *Lepidotrigla kishinouyei*

カテゴリー: A



採集日: 2008年3月9日

採集地: 富山市岩瀬沖 シーバース周辺

採集者: 不破光大

採集方法: 釣り

本種は新潟県~九州南岸の日本海・東シナ海沿岸, 千葉県銚子~九州南岸の太平洋沿岸, 瀬戸内海, 東シナ海中部以南の大陸棚全域に生息する(山田・柳下, 2013a). 主な特徴は, 胸鰭内面は下方に青白色点が散在する黒斑があり, 最長吻棘は長く眼径の1/3で(山田・柳下, 2013a), 本個体も同様の特徴を示した.

本個体が富山湾初記録である. さらに, 2012年1月13日に魚津市青島沖の刺網で2個体(採集船: 仁光丸), 2012年1月16日に魚津市経田沖の定置網で3個体(採集者: 有限会社湯治好水産), 2012年5月7日に魚津市経田沖の底引き網で1個体(採集船: 第八好栄丸)が捕獲されており, それ以降も魚津市沖の刺網などで毎年多数の捕獲が確認されている. また, 滑川市高塚地先では木村が潜水した際に目視で確認している.

コチ科 Platycephalidae

ワニゴチ *Inegocia ochiaii*

カテゴリー: A





採集日：2016年9月1日

採集地：魚津市沖

採集船：第8大詰丸

採集方法：刺網

本種は八丈島，房総半島外房～九州南岸の太平洋沿岸，若狭湾～長崎県の日本海沿岸，瀬戸内海，屋久島に生息する（中坊・甲斐，2013c）．主な特徴は，眼下骨の隆起線は2～4棘，吻は長く吻長は眼径の約2.0～2.4倍，眼の後ろにくぼみがなく，鼻棘があり，間鰓蓋部の皮弁は単一形で（中坊・甲斐，2013c），本個体も同様の特徴を示した．

本個体が富山湾初記録である．さらに，2017年12月11日に魚津市住吉沖の定置網で1個体（採集者：魚津水産株式会社）と，同日に魚津市北中沖の定置網で1個体（採集者：高峯定置網組合）が確認されている．

ホタルジャコ科 Acropomatidae
スミクイウオ *Synagrops japonicus*
カテゴリー：A



採集日：2018年3月5日

採集地：魚津市住吉沖 水深80m

採集者：魚津水産株式会社

採集方法：定置網

全長：227.1 mm 体長：179.5 mm

体高：45.8 mm 体重：124.2 g

本種は，北海道～九州南岸の太平洋沿岸．兵庫県香住・浜坂，島根県隠岐・敬川沖，九州北西岸～東シナ海大陸棚縁辺域に生息する（波戸岡，2013d）．主な特徴は，臀鰭棘は2本，腹鰭棘の前縁はなめらかで（波戸岡，2013d），本個体も同様の特徴を示した．

本個体が富山湾初記録であり，当館で冷凍保存している．

キントキダイ科 Priacanthidae
ミナミキントキ *Priacanthus sagittarius*
カテゴリー：A



採集日：2017年12月28日
採集地：魚津市住吉沖 水深80m
採集船：魚津水産株式会社
採集方法：定置網

本種は神奈川県三浦・藤沢、三重県片田、高知県以布利、鹿児島県秋目・高山・内之浦に生息する（林，2013a）。主な特徴は、腹鰭基部に1黒色斑があり、背鰭第1～第3棘間の鰭膜上に明瞭な黒斑があり、背鰭・臀鰭の鰭膜が全体に白く透明感がある（林，2013a）、また尾鰭は截形かわずかに丸みを帯びることである（岡本，2018）。本個体は背鰭第1～第3棘間の鰭膜上の黒斑は不明瞭であったが、その他の特徴が一致したため本種に同定した。

本個体が富山湾初記録である。さらに本種は日本海からの報告は無く、日本海初記録と思われる。

テンジクダイ科 Apogonidae
テッポウイシモチ *Apogon kiensis*
カテゴリー：A



採集日：2014年1月16日（2個体）
採集地：魚津市経田沖
採集船：第八好栄丸
採集方法：底引き網
全長：55 mm

本種は千葉県小湊～九州の太平洋沿岸、島根県敬川沖～九州南岸の太平洋沿岸、瀬戸内海、東シナ海大陸棚域に生息する（林，2013b）。主な特徴は、第1背鰭は6棘、体側中央の黒色縦帯は尾鰭後縁に達することで（林，2013b）、2個体とも同様の特徴を示した。

これらの個体が富山湾初記録である。

フウライイシモチ

Apogon quadrifasciatus
カテゴリー：A



採集日：2011年12月27日
 採集地：魚津市経田沖水深60～70m
 採集船：第八好栄丸
 採集方法：底引き網
 全長：62.5mm

本種は神奈川県佐島，高知県高知，長崎県天草，熊本県八代海，屋久島，奄美大島，慶良間諸島，西表島，インド-西太平洋に生息する（林，2013b）。主な特徴は，第1背鰭は7棘，体側に3本の暗色縦帯があり中央縦帯は尾鰭後縁に達し，第2背鰭の後端基底部に1白色斑がなく，体側腹側にある横帯は短くて数は13～15である（林，2013b）。本個体は体側腹側の横帯は確認できなかったが，その他の特徴が一致したため本種に同定した。

本個体が富山湾初記録である。さらに，2012年12月12日にも魚津市経田沖の底引き網で1個体（採集船：第八好栄丸）が捕獲された。

ムツ科 Scombridae

クロムツ *Scombrops gilberti*

カテゴリー：B



採集日：2011年12月29日

採集地：魚津市沖

採集船：第8大詰丸

採集方法：刺網

本種は福島県，房総半島東岸，相模湾，伊豆大島，伊豆半島南東岸に生息する（林，2013c）。主な特徴は，側線有孔鱗数は59～70，側線上方横列鱗数は8～9，側線下方横列鱗数は14～17，生時の成魚の体色は黒紫褐色で（林，2013c），本個体も同様の特徴を示した。

本種は近縁種であるムツと混同されており，漁業関係者は区別していない。富山湾ではムツの方が多くみられ，本種は以前にも刺網などで捕獲されていたと考えられるが，これまで報告されておらず，本個体が富山湾初記録である。さらに，2012年4月21日に魚津市沖の刺網で2個体，2012年6月13日に魚津市沖の刺網で1個体（採集船：第八松重丸）が捕獲された。

アジ科 Carangidae

ヒレナガカンパチ *Seriola rivoliana*

カテゴリー：A



採集日：2011年12月19日（2個体）

採集地：魚津市経田沖

採集者：有限会社藤吉水産

採集方法：定置網

本種は能登半島，山口県日本海沿岸，長崎県，八丈島，小笠原諸島，相模湾～九州南岸・屋久島の太平洋沿岸，鹿児島県笠沙，琉球列島に生息する（瀬能，2013b）．主な特徴は，眼の中心は吻端を通る軸線より上で，眼を通る暗色斜走帯があり，第2背鰭の前部は鎌状，尾鰭下葉先端は白くないこと（瀬能，2013b），これらの個体も同様の特徴を示した．

これらの個体が富山湾初記録である．さらに，2012年以降も魚津市沖の定置網などで毎年10月～1月に捕獲が確認されている．

モロ *Decapterus macrosoma*

カテゴリー：A



採集日：2012年1月18日（4個体）

採集地：富山・新潟県境沖

採集者：境市振定置網漁業組合

採集方法：定置網

本種は北海道～九州南岸・種子島の太平洋沿岸，山口県日本海沿岸，九州西岸・東シナ海大陸棚縁辺域，沖縄県那覇に生息する（瀬能，2013b）．主な特徴は，脂脰が発達し，

尾柄部に小離鰭があり，稜鱗の側線直走部の3/4を覆い，胸鰭先端は第2背鰭基部直下に届かないこと（瀬能，2013b），尾鰭は全体が黄色く後縁が赤いこと（工藤，2018b），本個体も同様の特徴を示した．

これらの個体が富山湾初記録である．さらに，2012～2014年の11月～1月に各数個体，2016年に1個体が富山県・新潟県境沖の定置網などで捕獲が確認されている．

クサヤモロ *Decapterus macarellus*

カテゴリー：A



採集日：2012年1月10日

採集地：入善町吉原沖

採集者：有限会社目合又大謀網

採集方法：定置網

本種は伊豆-小笠原諸島，青森県津軽海峡，相模湾～九州南岸・屋久島の太平洋沿岸，山口県日本海沿岸，鹿児島県笠沙，琉球列島，南大東島に生息する（瀬能，2013b）．主な特徴は，脂脰が発達し，尾柄部に小離鰭があり，稜鱗は側線直走部の後半分を占める（瀬能，2013b），さらに体側中央には青色縦帯が走り，尾鰭は暗色がかった黄色，下葉先端は淡紅色・後端は黄色で（工藤，2018a），本個体も同様の特徴を示した．

本個体が富山湾初記録である．さらに2012年以降にも魚津市沖の定置網などで毎年多数の捕獲が確認されている．

テンジクアジ *Carangichthys oblongus*

カテゴリー：A



採集日：2013年10月29日

採集地：魚津市北中沖

採集者：高峯定置網組合

採集方法：定置網

背鰭条数：V III - I, 21

臀鰭条数：II - I, 19

本種は相模湾，高知県以布利，宮崎県延岡，山口県日本海沿岸，長崎県，鹿児島県笠沙・内之浦湾，沖縄島に生息する（瀬能，2013b）。主な特徴は，脂鱗は未発達，稜鱗は側線直走部の全体にわたって発達し，背鰭と臀鰭の前部軟条は糸状に伸長，側線直走部は曲走部より長く，背鰭軟条数は20～22軟条で（瀬能，2013b），本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。

クロヒラアジ *Carangoides ferdau*

カテゴリー：A



採集日：2013年10月24日

採集地：富山湾

採集方法：定置網

本種は伊豆-小笠原諸島，相模湾～九州南岸の太平洋沿岸（相模湾，駿河湾では幼魚のみ）山口県日本海沿岸，鹿児島県笠沙，琉球列島に生息する（瀬能，2013b）。主な特徴は，胸部無鱗域は腹鰭基部までしか達せず，体には幅が広い横向きに屈曲する暗色横帯があり，生鮮時黄色点はなく，吻長は眼径とほぼ同じで吻が丸いこと（瀬能，2013b），本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。さらに，2013年10月28日にも魚津市沖で1個体が捕獲された（採集船：第十二善雄丸，採集方法：刺網）。



シマガツオ科 Bramidae

ヒレジロマンザイウオ

Taractichthys steindachneri

カテゴリー：A



採集日：2013年1月21日

採集地：魚津市沖

採集者：第2淳伊丸

採集方法：刺網

本種は宮城県～土佐湾の太平洋沖，北海道日本海沿岸北部，津軽海峡，新潟県，山口県日本海沿岸，沖縄舟状海盆北東部，九州-パラオ海嶺に生息する(波戸岡・甲斐，2013)。主な特徴は，背鰭基部は鰓蓋上端より後方にあり，両眼間隔は著しく突出し，左右の腹鰭は比較的離れており，腹鰭基部は胸鰭基部上端より前方にあることと(波戸岡・甲斐，2013)，尾鰭後縁は白色，背鰭と臀鰭の前部は長く伸びることで(波戸岡，2018b)，本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。さらに，2013年3月22日に魚津市経田沖の定置網で1個体(採集者：有限会社藤吉水産)，2015年1月19日に魚津市北中沖の定置網で1個体(採集者：高峯定置網組合)，2017年2月28日に魚津市北中沖の定置網で1個体(採集者：高峯定置網組合)が捕獲された。

チカメエチオピア *Eumegistus illustris*

カテゴリー：A



採集日：2013年3月25日

採集地：魚津市三ヶ沖

採集者：三和定置網組合

採集方法：定置網

本種は小笠原諸島，相模湾，土佐湾，沖縄島，沖縄船状海盆北東部，九州-パラオ海嶺に生息する(波戸岡・甲斐，2013)。

主な特徴は，背鰭基部は鰓蓋上端より後方にあり，両眼間隔は著しく突出し，左右の腹鰭は比較的離れており，腹鰭基部は胸鰭基部上端より後方にあることと(波戸岡・甲斐，2013)，尾鰭後縁は成魚では2叉していることと(望月，1984)，本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。

ヒメシマガツオ *Brama dussumieri*

カテゴリー：A



採集日：2013年1月28日(2個体)

採集地：滑川市北中沖

採集者：高峯定置網組合

採集方法：定置網

本種は相模湾～九州南方の黒潮流域，京都府舞鶴～長崎県五島列島の対馬暖流域，東シナ海，八重山諸島，九州-パラオ海嶺，沖ノ島島周辺海域に生息する(波戸岡・甲斐，2013)。主な特徴は，背鰭基部は鰓蓋上端より後方にあり，両眼間隔は著しく突出

し、左右の腹鰭は接近しており、体の縦列鱗数が 57~65 であることと (波戸岡・甲斐, 2013), 吻の背面は斜めで、尾鰭の上葉が下葉より長いことと (波戸岡, 2018a), 2 個体とも同様の特徴を示した。

これらの個体が富山湾初記録である。さらに、2016 年 12 月 12 日に滑川市三ヶ沖の定置網で 1 個体 (採集者: 魚津水産株式会社, 全長: 252 mm, 体長: 191 mm, 体高: 97 mm), 2017 年 2 月 13 日に入善町吉原沖の定置網で 1 個体 (採集者: 吉原目合又大謀網, 全長: 261 mm, 体長 199 mm, 体高: 94 mm) が捕獲された。

タイ科 Sparidae

キチヌ *Acanthopagrus latus*

カテゴリー: A



採集日: 2017 年 10 月 10 日

採集地: 魚津市住吉沖 水深 80m

採集者: 魚津水産株式会社

採集方法: 定置網

全長: 307.2 mm 体長: 246.1 mm

体高: 97.0 mm 体重: 446g

本種は岩手県角ノ浜, 千葉県外房~九州南岸の太平洋沿岸, 兵庫県浜坂~九州南岸の日本海・東シナ海沿岸, 瀬戸内海, 小笠原諸島に生息する (林・萩原, 2013). 主な特徴は、側線上方の背鰭棘条中央下横列鱗数

は 3.5 (大鱗が 3 枚と小鱗が 1 枚; 小鱗を 0.5 と記載), 体長は体高の 2.4 (2.3~2.5) 倍, 腹鰭と臀鰭は鮮黄色であることと (林・萩原, 2013), 本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。

イスズミ科 Kyphosidae

ノトイスズミ *Kyphosus bigibbus*

カテゴリー: A



採集日: 2017 年 9 月 6 日

採集地: 魚津市青島沖

採集船: 仁光丸

採集方法: 刺網

全長: 191.2 mm 体長: 151.5 mm

体高: 68.3 mm 体重: 116g

本種は青森県平館, 宮城県石巻, 能登半島~九州南岸の日本海・東シナ海沿岸, 千葉県外房~九州南岸の太平洋沿岸, 屋久島, 琉球列島に生息する (中坊・土居内, 2013b). 主な特徴は、背鰭軟条部は通常 12 軟条, 臀鰭軟条部は通常 11 軟条, 背鰭基底中央部・臀鰭基部で体の背縁と腹縁は折れまがらず, 吻先が短くやや丸いことと (中坊・土居内, 2013b), 生時の体側縦帯は濃茶色か褐色で (坂井, 2018), 本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。当館に搬入時は生きており飼育していたが、2017 年 9 月 18 日に死亡したためホルマリン標本

として当館で保管している.

メジナ科 Girellidae

クロメジナ *Girella leonina*

カテゴリー：A



採集日：2015年1月15日

採集地：魚津市住吉沖

採集者：魚津水産株式会社

採集方法：定置網

本種は東北地方太平洋沿岸，千葉県外房～九州南岸の太平洋沿岸，青森県～島根県の日本海沿岸，九州北岸・西岸，屋久島，琉球列島，小笠原諸島に生息する（中坊・土居内，2013c）. 主な特徴は，上唇は薄く，鰓蓋の後縁は黒い，両顎歯は1列，側線有孔鱗数は57～65で（中坊・土居内，2013c），本個体も同様の特徴を示した.

本個体が富山湾初記録である.

オオメメダイ科 Ariommatidae

ミナミメダイ *Ariomma brevipanum*

カテゴリー：A



採集日：2013年10月15日

採集地：滑川市三ヶ沖

採集者：魚津水産株式会社

採集方法：定置網

全長：257.3 mm 体長：216.3 mm

頭長：58.9 mm 体高：57.3 mm

眼径：14.8 mm 背鰭条数：X-I，15

臀鰭条数：II，15

本種は神奈川県三崎，三重県志摩，和歌山県串本，土佐湾，豊後水道，熊本県天草，沖縄島に生息する（中坊・土居内，2013a）. 主な特徴は，吻端はかなり丸く，前上顎骨・主上顎骨のかなりの部分が皮膚と涙骨に覆われ，臀鰭軟条数は14～15軟条，眼は小さく頭長の1/4以下，頭部背面の有鱗域の先端は眼の後縁に達することで（中坊・土居内，2013a），本個体も同様の特徴を示した.

本個体が富山湾初記録であり，ホルマリン標本にして当館で保管している. さらに本種は日本海からの報告は無く，日本海初記録と思われる.

ギンダラ科 Anoplopomatidae

アブラボウズ *Erilepis zonifer*

カテゴリー：A



採集日：2016年10月18日

採集地：魚津市沖水深約300m

採集船：第八松重丸

採集方法：刺網

全長：1490 mm 体高：410 mm 体重：61 kg

背鰭条数：XII-I，16 胸鰭条数：18

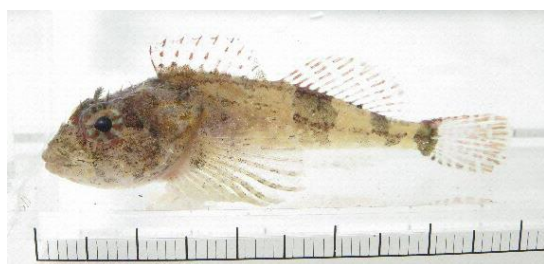
本種は北海道～熊野灘の太平洋沿岸，津軽海峡，兵庫県香住に生息する（中坊・甲斐，2013a）．主な特徴は，背鰭棘は柔らかくて弱く，体は太短くほんのわずか側扁し，背鰭は2基で第1背鰭と第2背鰭は接近しており，第1背鰭は12～14棘であることと（中坊・甲斐，2013a），体は暗褐色で大きな白斑が散在することで（中坊，2018），本個体も同様の特徴を示した．

本個体が富山湾初記録である．

カジカ科 Cottidae

フタスジカジカ *Icelinus japonicus*

カテゴリー：A



採集日：2017年2月1日

採集地：魚津市青島沖水深2.8m

採集者：木村知晴

採集方法：手網

全長：53.2 mm 体長：43.3 mm

体高：9.5 mm 体重：2.0g

本種は青森県津軽海峡沿岸，新潟県佐渡，山形県，兵庫県香住，山口県瀬戸内海沿岸に生息する（中坊・甲斐，2013d）．主な特徴は，背側に2列の側線鱗とほぼ同大の鱗列があり第2背鰭後端よりも後方へ伸び，後頭部

に3対の皮弁があり，側線と背側の鱗列の櫛鱗以外に体側には鱗がないことで（中坊・甲斐，2013d），本個体も同様の特徴を示した．

本個体が富山湾初記録である．採集時には生きており飼育していたが，2017年3月27日に死亡したために3月28日に計測し，当館でホルマリン標本として保管している．

ニホンキンカジカ *Cottiusculus*

nihonkaiensis

カテゴリー：B



採集日：2012年1月15日

採集地：魚津市経田沖

採集船：第八好栄丸

採集方法：底引き網

本種は北海道石狩湾・噴火湾，新潟県～九州北岸の日本海沿岸，朝鮮半島東岸，アニワ湾に生息する（中坊・甲斐，2013d）．主な特徴は，前鰓蓋骨最上棘後端は鉤状にならず，体の側線孔は尾鰭基底を超えて尾鰭上に達

し、鼻棘の先端は通常単尖頭で、側線孔の前方上方にいくつかの皮弁があることで（中坊・甲斐，2013d），本個体も同様の特徴を示した。

本種は従来キンカジカ *Cottiusculus schmidti* とされてきたが，Kai & Nakabo（2009）により別種として記載された。キンカジカは 1986～1996 年に魚津市沖と富山市沖から 22 例の記録がある（魚津水族館，1997）。また，2010～2011 年には魚津市沖でキンカジカによく似た種が複数匹捕獲され当館に搬入したが，不明種として扱っていた。キンカジカの分布域は宮城県～福島県の太平洋沿岸とされており（中坊・甲斐，2013d），過去の富山湾でのキンカジカの記録はいずれも本種と考えられる。

本種は 2012 年以降も魚津市沖の底引き網漁などで数匹の捕獲が確認されている。

ニシキギンポ科 Pholidae

タケギンポ *Pholis crassispina*

カテゴリー：A



採集日：2011 年 5 月 12 日

採集地：魚津市三ヶ地先

採集者：木村知晴

採集方法：手網

本種はオホーツク沿岸を除く北海道沿岸，青森県～三重県英虞湾の太平洋沿岸，青森県～九州北岸の日本海沿岸，瀬戸内海・紀伊水道北部に生息する（波戸岡・萩原，2013）。

主な特徴は，頭部に鱗があり，眼の下に輪郭の明瞭な横帯があり，尾鰭は全体が一様な褐色，胸鰭は 11～13 軟条で（波戸岡・萩原，2013），本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。なお，本種は富山湾において過去に何度も捕獲されて当館で展示していたが，これまで報告はなかった。さらに，魚津市の地先などで毎年多数が確認されている。

ネズッポ科 Callionymidae

ヤマドリ *Neosynchiropus ijimai*

カテゴリー：A



採集日：2016年11月10日

採集地：魚津市本町沖 水深5m

採集者：木村知晴

採集方法：手網

全長：38.8mm 体長：30.1mm 体高：5.0mm

体重：0.7g

本種は北海道積丹半島，新潟県佐渡，福井県常神半島，兵庫県香住，島根県隠岐・久村，山口県日本海沿岸，福岡県津屋崎，長崎県香焼，伊豆大島，八丈島，千葉県館山～高知県柏島の太平洋沿岸，愛媛県室手に生息する（中坊・土居内，2013d）．主な特徴は，前鰓蓋骨棘基部に前向突起があり，眼上に1対の皮弁があることで（中坊・土居内，2013d），本個体も同様の特徴を示した．

本個体が富山湾初記録である．採集時には生きており当館で飼育していたが，2016年12月24日に死亡したので計測を行った．さらに，2017年5月10日にも魚津市元町沖で1個体（採集者：木村知晴，採集方法：手網，全長：45.5mm，体長：34.9mm，体高：6.5mm，体重：1.3g）が捕獲された．

ホロヌメリ *Repomucenus virgis*

カテゴリー：A



採集日：2013年4月14日

採集地：魚津市経田沖

採集船：第八好栄丸

採集方法：底引き網

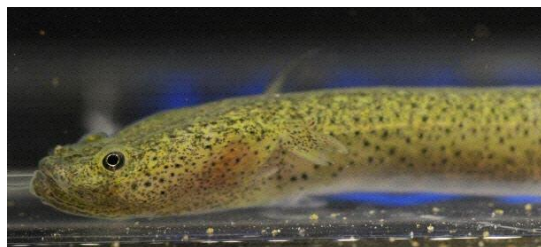
本種は青森県日本海沿岸，新潟県柏崎，若狭湾～長崎県の日本海沿岸，福島県小名浜～豊後水道の太平洋沿岸に生息する（中坊・土居内，2013d）．主な特徴は，オス成魚の第1背鰭は著しく大きく，眼下管には外側に向かう分枝がないことで（中坊・土居内，2013d），本個体も同様の特徴を示した．

本個体が富山湾初記録である．

ハゼ科 Gobiidae

カマヒレミミズハゼ *Luciogobius* sp. 2

カテゴリー：A



採集日：2013年12月2日

採集地：魚津市北鬼江海岸

採集者：木村知晴

採集方法：手網

全長：47.8mm 体長：42.4mm 頭長：7.0mm

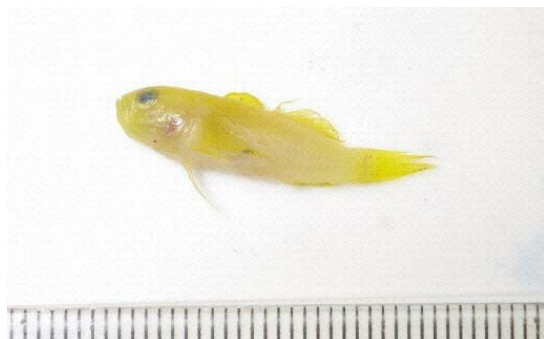
体高：3.7mm

本種は青森県津軽海峡沿岸，相模湾西部，伊豆半島西岸に生息する（明仁ら，2013）。主な特徴は，体は細長く，背鰭は1基で基底が短く，眼は頭部の背面にあり，胸鰭上部に遊離軟条があり下部にはなく，胸鰭は上部の軟条が長く三角形で（明仁ら，2013），本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録であり，ホルマリン標本にして当館で保管している。さらに，2014年3月4日にも魚津市北鬼江海岸で1個体（採集者：木村知晴，採集方法：手網）が捕獲された。

ミジンベニハゼ *Lubricogobius exiguus*

カテゴリー：A



採集日：2014年1月15日

採集地：魚津市経田沖

採集船：第八好栄丸

採集方法：底引き網

全長：26mm

本種は千葉県館山湾～愛媛県室手の太平洋沿岸，兵庫県香住，福岡県津屋崎～鹿児島県笠沙の玄界灘・東シナ海沿岸に生息する（明仁ら，2013）。主な特徴は，体に鱗がなく，口の後端は眼の中央下に達せず，鼻孔は2個，体側と頭部は一様に黄色で（明仁

ら，2013），本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。

クロホシマンジュウダイ科 Scatophagidae

クロホシマンジュウダイ *Scatophagus*

argus

カテゴリー：A



採集日：2012年1月13日

採集地：魚津市青島沖

採集船：仁光丸

採集方法：刺網

本種は秋田県潟上，新潟県関屋浜，石川県能登半島，兵庫県・山口県日本海側，長崎県，有明海，東京湾，大阪府泉南，伊予灘，高知県柏島・浦戸湾，愛媛県愛南，鹿児島県錦江湾南部，琉球列島に生息する（島田，2013）。主な特徴は，側線は完全で尾柄まで達し，臀鰭棘数は4棘，左右の鰓膜は峡部で互いに癒合しており，体に多数の黒斑が散在することで（島田，2013），本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。さらに，2015年9月15日に富山湾で1個体（全長：321mm，体長：273mm，体高：173mm，頭長：77mm，計測日：飼育後の2016年7月13日）が捕獲された。

カレイ科 Pleuronectidae

ナガレメイタガレイ *Pleuronichthys japonicus*

カテゴリー：B



採集日：2012年1月13日

採集地：魚津市北中沖

採集者：高峯定置網組合

採集方法：定置網

本種は北海道～九州南岸の日本海・東シナ海沿岸，岩手県～九州南岸の太平洋沿岸，瀬戸内海西部，東シナ海大陸棚縁辺域に生息する(中坊・土居内, 2013e). 主な特徴は，有眼側の鰓孔上端は胸鰭上端とほぼ同じ高さで，両眼間に前方と後方とを向く骨性突起があり，鱗は円形でやや不規則配列をとり，有眼側の体の小黑斑は小円状または縁辺が滑らかな不定形で，頭部側線に分枝を持つことが多いことで(中坊・土居内, 2013e)，本個体も同様の特徴を示した。

本種は従来，メイタガレイの類似種とされていたが，Suzuki et al. (2009) により新種として記載された。富山湾においては2012年以前にも捕獲されていたと考えられるが，メイタガレイと混同されていたためこれまで報告が無く，本個体が富山湾初記録である。本種は魚津市沖の定置網や刺網などで毎年多数の捕獲が確認されている。

フグ科 Tetraodontidae

ムシフグ *Takifugu exascurus*

カテゴリー：A



採集日：2012年6月9日

採集地：魚津市三ヶ沖

採集者：三和定置網組合

採集方法：定置網

本種は千葉県銚子，相模湾，伊豆大島，和歌山県白浜，新潟県佐渡，兵庫県浜坂九州西岸に生息する(山田・柳下, 2013b). 主な特徴は，尾鰭は湾入せず，鼻孔は2つで，背鰭は12～19軟条，臀鰭は10～16軟条，背・腹面の小棘は不連続で胸鰭後方には黒斑・鞍状斑がなく，体の模様は虫食い状で(山田・柳下, 2013b)，本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。さらに，2013年5月11日に魚津市経田沖で定置網にて1個体(採集者：有限会社藤吉水産)，2015年8月22日に魚津市沖の定置網で1個体が捕獲された。

アミメフグ *Takifugu reticularis*

カテゴリー：A





採集日：2013年1月28日（2個体）

採集地：魚津市北中沖

採集者：高峯定置網組合

採集方法：定置網

本種は兵庫県香住，東シナ海に生息する（山田・柳下，2013b）。主な特徴は，背・腹面の小棘は連続しない，胸鰭後方の黒斑には白い縁取りがあり，背鰭は15～19軟条，体背面の斑紋は網目状で（山田・柳下，2013b），2個体とも同様の特徴を示した。

これらの個体が富山湾初記録である。さらに，2013年3月1日にも魚津市北中沖の定置網で1個体（採集者：高峯定置網組合）が捕獲された。

クロサバフグ *Lagocephalus gloveri*

カテゴリー：A



採集日：2012年6月9日

採集地：魚津市住吉沖

採集船：魚津水産株式会社

採集方法：定置網

本種は北海道～九州南岸の太平洋沿岸，能登半島，福岡県津屋崎，東シナ海に生息する（山田・柳下，2013b）。主な特徴は，体背面の小棘域は通常胸鰭先端の前方までしか達せず，尾鰭は二重湾入形，尾鰭上下葉端は白いことで（山田・柳下，2013b）。本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。

ハリセンボン科 Diodontidae

メイトイシガキフグ *Cyclichthys orbicularis*

カテゴリー：A



採集日：2012年9月26日

採集地：魚津市沖

採集方法：定置網

本種は佐渡島，能登半島，兵庫県浜坂，山口県日本海沿岸，伊豆半島，紀伊半島，高知県以布利，柏島，沖縄島に生息する（藍澤・土居内，2013b）。主な特徴は，体の棘は短く不動性で，尾柄部背方に棘がなく，体の腹面には黒斑がないことで（藍澤・土居内，2013b），本個体も同様の特徴を示した。

本個体が富山湾初記録である。当館で飼育展示していたが，2013年9月26日に死亡したため，ホルマリン標本にして当館で保管している。さらに，2016年11月25日

にも魚津市経田沖の定置網で1個体（採集者：有限会社藤吉水産，体長：110.2 mm，体高：69.0 mm，体重：163.7g）が捕獲された。

イガグリフグ *Cylichthys spilostylus*
カテゴリー：A



採集日：2014年12月15日

採集地：魚津市経田沖

採集船：第八好栄丸

採集方法：底引き網

全長：206 mm 体長：164 mm 体高：73 mm

体重：341g（計測日：2015年6月9日）

本種は、富山湾、高知県、石垣島、インド-西太平洋の熱帯域に生息するとされる（藍澤・土居内，2013b）。主な特徴は、体にある棘は不動性で、尾柄部背方に棘がなく、体の腹面には棘の根元に瞳孔大の黒斑があることで（藍澤・土居内，2013b）、本個体も同様の特徴を示した。

藍澤・土居内（2013b）は本種の生息域に富山湾を含めているが、この記載は坂井ら（1991）の石川県庵および Matsuura et. al.（1993）の石川県佐々波での採集記録であり、富山県沿岸からは本個体が初記録である。当館に搬入時には生きていたが、2015年6月9日に死亡した。

備考 1

富山湾での採集や生息情報があるものの、標本や写真での確認ができず、今回の記載

を見送った未記録種 10 種を以下に記す。

ゾウカスベは 2009 年 8 月 3 日に魚津おさかなランドの競りで不破が現認している。

メバル属の一種（採集船：第 8 喜代丸）が 2012 年 9 月 28 日に滑川市笠木沖の刺網で 1 個体捕獲され、サンコウメヌケまたはオオサガのどちらかと判断された。両種は口腔内の色、両顎の歯帯の形、鋤骨・口蓋骨の形で識別されるが（中坊・甲斐，2013b）、本個体の記録は写真のみで口内を確認することができず、種の同定ができなかった。

ヒラスズキは富山市水橋において不破が釣りで採集している。

ギンガメアジは 2012 年 10 月 9 日に定置網で捕獲された個体を魚津おさかなランドの競りで木村が写真撮影しているが、採集者・採集場所が明確ではない。

ノトサイカイビクニンは 2009 年 10 月 2 日にカニ籠漁で捕獲され魚津港に水揚げされているが、採集地点は石川県能登半島沖の可能性が高いため、今回の報告には含めなかった。

ベニツケギンポおよびトビヌメリは過去に富山湾で捕獲され当館で飼育していたと稲村は記憶している。

イソハゼおよびイチモンジハゼは魚津市三ヶ沖で木村が潜水調査時に目視で確認し写真を撮影したが、両種とも近似種が多いため標本に基づく同定が必要である。

ナシフグは 2011 年 10 月 13 日に魚津おさかなランドの競りで水揚げされた個体を木村が写真撮影しているが、採集者・採集場所・採集方法が明確ではない。

以上の種は、改めて標本や写真に基づく確認が必要である。

備考 2

つぎに、詳細な報告ではないが、当館が確認した内容に基づいて掲載された新聞記事に写真や記録がある魚類 8 種を以下に記す。

イセゴイ *Megalops cyprinoides* は 1997 年 10 月 6 日に氷見市島尾沖の定置網で 1 個体捕獲された（北日本新聞，1997c）。以後 2019 年 3 月までに 4 個体が確認されている。

ベンテンウオ *Pteraclis aesticola* は 1997 年 1 月 21 日に氷見市沖の定置網で 1 個体（全長 56 cm，体高 12 cm，背鰭 40 cm，臀鰭 32 cm）が捕獲され（北日本新聞，1997a），2014 年 11 月 28 日に富山市浜黒崎沖の定置網で 1 個体（採集者：深曳漁業生産組合，全長：56 cm）が捕獲された。

バラフエダイ *Lutjanus bohar* は 2005 年 12 月 7 日黒部市石田沖で 1 個体，2008 年 11 月 17 日に魚津市沖の定置網で 1 個体（全長：約 60 cm）が捕獲された（北日本新聞，2008）。

オキナヒメジ *Parupeneus spilurus* は 1997 年 7 月 16 日氷見市島尾沖の定置網で 1 個体（全長：20.8 cm）が捕獲された（北日本新聞，1997b）。

アラスカビクニン *Careproctus colletti* は 1998 年 2 月 5 日に魚津市青島沖の刺網で 1 個体（体長：45 cm）が捕獲された（富山新聞，1998）。

カゴカマス *Rexea prometheoides* は 1997 年 5 月 2 日に魚津市北鬼江沖の定置網で 1 個体（採集者：有限会社藤吉水産，全長：22.7 cm）が捕獲された（富山新聞，1997）。

テングハギ *Naso unicornis* は 1997 年 7 月 14 日に入善町横山沖で 1 個体（採集者：板沢茂，全長：43 cm）が捕獲された（北陸中日新聞，1997）。

テングハコフグ *Ostracion*

rhinorhynchos は 1999 年 10 月 23 日に黒部市石田沖の定置網（捕獲者：黒部鷹野定置網，全長 33.5 cm）で捕獲された（富山新聞，1999）。

まとめ

河野ら（2014）の日本海産魚類目録のリストに掲載されている富山湾産魚類 613 種に加えて、すでに富山湾において報告がある魚類としては、オンデンザメ *Somniosus pacificus*（伊串・稲村，2015），テングノタチ *Eumecichthys fiski*（稲村・伊串，2008），シマハナビラウオ *Psenes maculatus*（伊串・稲村，2009b），オオミミズハゼ *Luciogobius grandis*（伊串・稲村，2012），キビレカワハギ *Thamnaconus modestoides*（伊串・稲村，2010b），ゴイシウマヅラハギ *Thamnaconus tessellatus*（伊串・稲村，2010b），ウシマンボウ *Mola* sp. A（澤井ら，2017）の 7 種がある。これらに備考 2 の新聞に記録がある 8 種を合わせ、分類が変更されたメバルとキンカジカの 2 種を除き、今回新たに確認した 48 種を加えると、文献上の記録がある富山湾産魚類は 674 種となる。

一方、稲村（2017）は、日本海産魚類目録（河野ら，2014）のリストに掲載されている富山湾産魚類 613 種について、引用した文献記録の中に富山湾産としての出典が明らかでないものも多数含まれていたことから、その中で当館が実物を確認した種は 408 種と報告している。これを元に今回調査した結果を加えると、当館として確認した富山湾産魚類は 470 種となった。

つぎに、今回確認された中で種数が多かった科は、メバル科 6 種、アジ科 5 種、シマ

ガツオ科およびフグ科3種の順であった。

メバル科はメバルが3種に分けられたことや、ウツカリカサゴやタヌキメバルのようにもともと富山湾に生息していたが近縁種と混同されていた種が多い。

一方、アジ科は暖海性の魚類が多く、今回新たに確認された5種全てが太平洋側から対馬暖流に乗って日本海に入り、富山湾まで回遊してきたものと推測される。日本海におけるアジ科魚類の増加は若狭湾周辺でも報告されており(松沼ら, 2019)、富山湾も同様の傾向であると考えられる。

このように、分類学的研究が進むことによって従来同種とされてきた種の中から新種が記載される例は今後も増えるものと考えられる。さらに、アジ科のように地球温暖化による海水温の上昇などの影響が考えられ、今後も新たに富山湾に来遊する暖海性の魚類の増加が予想される。これらの暖海性魚類の出現は一過性のものなのか、または継続的に出現し、さらには富山湾に定着するのかは興味深い。

以上のように、今後も新たに確認される魚類は増えるものと考えられるため、市場調査を継続するとともに、沿岸での生息調査を行って富山湾の魚類相の変化を記録していきたい。

なお、今回は富山湾から未報告の魚種に限定しており、河野ら(2014)の富山湾産魚類613種に記載されながら、稲村(2017)の当館確認魚類408種に含まれていない魚類205種についての確認情報は掲載していない。さらに、当館で過去に撮影された写真などの未発表資料もあり、さらに精査する必要がある。今後、それらを踏まえて、2019年以降に確認した魚種も含めて、当館とし

て実物をもとに確認した富山湾産魚類リストを作る予定である。

謝辞

各種の魚類を提供して頂いた魚津漁業協同組合の皆様、魚津水産株式会社の皆様、第八好栄丸船長の田中智宏氏、仁光丸船長の山崎栄一氏、新湊漁業協同組合の皆様、黒部漁業協同組合の皆様、富山県水産研究所の皆様に深く感謝いたします。また、各魚の輸送や計測を手伝っていただいた魚津水族館職員の皆様に深謝いたします。

引用文献

- 藍沢正宏・土居内 龍. 2013a. シヤチブリ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 410-411.
- 藍沢正宏・土居内 龍. 2013b. ハリセンボン科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 1743-1745.
- 明仁・坂本勝一・池田祐二・藍沢正宏. 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 1347-1438.
- 浅野博利. 1984. イトアナゴ 解説. 益田一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫編. 日本産魚類大図鑑. 東海大学出版会. 29.
- 波戸岡 清峰. 2013a. ウミヘビ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 266-275.
- 波戸岡 清峰. 2013b. ハモ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 288.
- 波戸岡 清峰. 2013c. クズアナゴ科. 中坊

- 徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 292.
- 波戸岡 清峰. 2013d. ホタルジャコ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 750.
- 波戸岡 清峰. 2018a. ヒメシマガツオ. 中坊徹次編. 小学館の図鑑 Z 日本魚類館 精緻な写真と詳しい解説. 株式会社小学館. 株式会社小学館. 269.
- 波戸岡 清峰. 2018b. ヒレジロマンザイウオ. 中坊徹次編. 小学館の図鑑 Z 日本魚類館 精緻な写真と詳しい解説. 株式会社小学館. 269.
- 波戸岡 清峰・萩原清司. 2013. ニシキギンポ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 1253.
- 波戸岡 清峰・甲斐嘉晃. 2013. シマガツオ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 905-908.
- 林 公義. 2013a. キントキダイ科. 中坊徹次編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 822-823.
- 林 公義. 2013b. テンジクダイ科. 中坊徹次編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 826-848.
- 林 公義. 2013c. ムツ科. 中坊徹次編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 871.
- 林 公義・萩原清司. 2013. タイ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 955-956.
- 北陸中日新聞. 1997. おでこにてんぐの鼻珍魚「テングハギ」登場. 7月16日朝刊. 21.
- 細谷和海. 2013. サケ科. 中坊徹次編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 362-366.
- 伊串祐紀・稲村 修. 2009a. 魚津市沿岸で見られる魚類の季節変動—予備調査—. 魚津水族博物館年報第19号: 53-55.
- 伊串祐紀・稲村 修. 2009b. 富山湾初記録のシマハナビラウオ *Psenes maculatus*. 魚津水族博物館年報第19号: 56.
- 伊串祐紀・稲村 修. 2010a. 2009年富山湾沿岸における魚類相と季節変動. 魚津水族博物館年報第20号: 44-54.
- 伊串祐紀・稲村 修. 2010b. 富山湾沿岸で捕獲されたカワハギ科魚類. 魚津水族博物館年報第20号: 57-58.
- 伊串祐紀・稲村 修. 2012. 2010年富山湾沿岸における魚類相. 魚津水族博物館年報第21号: 34-37.
- 伊串祐紀・稲村 修. 2015. 富山湾で捕獲されたオンデンザメの初記録. 魚津水族博物館年報第24号: 32-34.
- 稲村 修・伊串祐紀. 2008. 富山湾で捕獲されたテングノタチ. 魚津水族博物館年報第18号: 36.
- 稲村 修. 2017. 富山湾の自然環境と魚類相. BIOSTORY vol.26:32-38.
- Kai Y.・Nakabo T. 2002. Morphological differences among three color morphotypes of *Sebastes inermis* (Scorpaenidae). Ichthyological Research, 49 (3):260-266.
- Kai Y.・Nakabo T. 2008. Taxonomic review of the *Sebastes inermis* species complex (Scorpaeniformes: Scorpaenidae). Ichthyological Research, 55 (3):238-259.
- Kai Y.・Nakabo T. 2009. Taxonomic review

- of the genus *Cottiusculus* (Cottoidei: Cottidae) with description of a new species from the Sea of Japan. *Ichthyological Research*, 56 (3) :213-226.
- Katoh M.・Tokimura M. 2001. Genetic and morphological identification of *Sebastiscus tertius* in the East China Sea (Scorpaeniformes: Scorpaenidae). *Ichthyological Research*, 48 (3) :247-255.
- 河野光久・三宅博哉・星野 昇・伊藤欣吾・山中智之・甲本亮太・忠鉢孝明・安澤 弥・池田 怜・大慶則之・木下仁徳・児玉晃治・手賀太郎・山崎 淳・森俊郎・長濱達章・大谷徹也・山田英明・村山達朗・安藤朗彦・甲斐修也・土井啓行・杉山秀樹・飯田新二・船木信一 . 2014. 日本海産魚類目録. 山口県水産研究センター研究報告 第11号 :1-30.
- 北日本新聞. 1997a. 氷見沖に南方から珍客. 1月22日朝刊. 22.
- 北日本新聞. 1997b. 南の海から珍魚続々 オキナヒメジやハナオコゼ. 7月29日朝刊. 24.
- 北日本新聞. 1997c. 富山湾に珍客・イセゴイ 初めて捕獲. 10月7日朝刊. 28.
- 北日本新聞. 2008. 南方の珍客ご用心 バラフェダイ. 12月4日朝刊. 22.
- 工藤孝浩. 2018a. クサヤモロ. 中坊徹次編. 小学館の図鑑Z 日本魚類館 精緻な写真と詳しい解説. 株式会社小学館. 259.
- 工藤孝浩. 2018b. モロ. 中坊徹次編. 小学館の図鑑Z 日本魚類館 精緻な写真と詳しい解説. 株式会社小学館. 259.
- 松沼瑞樹・内田喜隆・田城文人. 2019. オクチケカツオ *Scomberoides commersonianus* (アジ科) の山口県日本海沿岸からの記録および若狭湾とその周辺海域に出現するアジ科魚類目録. *魚類学雑誌*, 66 (2) :253-260.
- Matsuura K.・Sakai K.・Yoshino T. 1993. Records of two diodontid fishes, *Cyclichthys orbicularis* and *C. spilostylus*. *Japan. Ichthyological Research*, 40 (3) :372-376.
- 望月賢二. 1984. チカメエチオピア 解説. 益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫編. 日本産魚類大図鑑. 東海大学出版会. 155.
- Muto N.・Kai Y.・Nakabo T. 2011. Genetic and morphological differences between *Sebastes vulpes* and *S. zonatus* (Teleostei: Scorpaeniformes: Scorpaenidae). *Fishery Bulletin*, 109 (4) :429-439.
- 中坊徹次編. 2013. 日本産魚類検索 全種の同定第三版. 東海大学出版会 :1-2428.
- 中坊徹次. 2018. アブラボウズ. 中坊徹次編. 小学館の図鑑Z 日本魚類館 精緻な写真と詳しい解説. 株式会社小学館. 343.
- 中坊徹次・土居内 龍. 2013a. オオメメダイ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 108, 118, 1084.
- 中坊徹次・土居内 龍. 2013b. イスズミ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 1074-1075.
- 中坊徹次・土居内 龍. 2013c. メジナ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 1077.

- 中坊徹次・土居内 龍. 2013d. ネズッポ 科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 1331-1343.
- 中坊徹次・土居内 龍. 2013e. カレイ科. 中坊徹次編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 1675-1676.
- 中坊徹次・甲斐嘉晃. 2013a. ギンダラ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 94, 120, 1152.
- 中坊徹次・甲斐嘉晃. 2013b. メバル科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 668-679.
- 中坊徹次・甲斐嘉晃. 2013c. コチ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 734-737.
- 中坊徹次・甲斐嘉晃. 2013d. カジカ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 1160-1179.
- 南部久男. 2013. 文献による富山湾産魚類目録. 富山市科学博物館研究報告 第 37 号 : 153-162.
- 岡本 誠. 2018. ミナミキントキ. 中坊徹次編. 小学館の図鑑 Z 日本魚類館 精緻な写真と詳しい解説. 株式会社小学館. 246.
- 坂井恵一. 2018. ノトイスズミ. 中坊徹次編. 小学館の図鑑 Z 日本魚類館 精緻な写真と詳しい解説. 323.
- 坂井恵一・山本邦彦・徳武浩司・岡本 武・松村初男. 1991. 石川県の海産魚類. 動物園水族館雑誌, 33 (1) : 5-16.
- 澤井悦郎・山野上 祐介・木村知晴・稲村修. 2017. 日本海から 2 例目 (富山県初記録) のウシマンボウ. 魚類学雑誌, 64 (2) : 191-193.
- 瀬能 宏. 2013a. ナミノハナ科. 中坊徹次編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 645.
- 瀬能 宏. 2013b. アジ科. 中坊徹次編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 878-896.
- 島田和彦. 2013. クロホシマンジュウダイ科. 中坊徹次編. 日本産 魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 1612.
- Suzuki S. ・Kawashima T. ・ Nakabo T. 2009. Taxonomic review of East Asian Pleuronichthys (Pleuronectiformes: Pleuronectidae), with description of a new species. Ichthyological Research, 56 (3) : 276-291.
- 富山新聞, 1997. 温熱帯域生息のカゴカマス 富山湾で初の捕獲. 5月3日朝刊. 23.
- 富山新聞, 1998. 富山湾内に北の珍魚「アラスカビクニン」刺し網にかかる. 4月8日朝刊. 25.
- 富山新聞, 1999. 富山湾に熱帯の「珍魚」テングハコフグ. 10月24日朝刊. 28.
- 津田武美. 1990. 原色日本海魚類図鑑. 桂書房. 1-612.
- 魚津水族博物館. 1997. 富山湾産魚類リスト および富山湾産希少魚類の採集記録. 1-79.
- 山田梅芳・柳下直己. 2013a. ホウボウ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 720-726.
- 山田梅芳・柳下直己. 2013b. フグ科. 中坊徹次編. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会. 1728-1742.
- 山口敦子・青沼佳方・柳下直己・吉野哲夫. 2013. アカエイ科. 中坊徹次編. 日本産魚

類検索 全種の同定 第三版. 東海大学
出版会. 220-222.

山中智之・伊藤欣吾. 2014. 改訂青森県産魚
類目録補訂-I. 青森県産業技術センター
水産総合研究所研究報告, 8 : 1-10.

引用 URL

環境省. 2017. (魚類) 海洋生物レッドリスト
(2017) .

[http://www.env.go.jp/press/files/jp/
105233.pdf](http://www.env.go.jp/press/files/jp/105233.pdf). 2017 年 3 月 21 日発表.

表1 2008年～2018年に富山湾で新たに確認された魚類一覧.

複数回記録がある種は5回以下の記録のみ記載した. ※5回以上の記録がある種

科	種 (個体数)	カテゴリー	確認日	場所	採集者・確認者	方法
アカエイ	カラスエイ (1)	A	2016.11.10	魚津市北中沖	高峯定置網組合	定置網
ウミヘビ	セレベスヒレアナゴ (1)	A	2013.4.14	魚津市経田沖	第8好栄丸	底引き網
	ホタテウミヘビ (1)※	A	2013.10.31	富山湾	富山県水産研究所	
ハモ	スズハモ (1)	A	2018.3.26	富山新港 水深15m	棚田啓治	刺網
クズアナゴ	イトアナゴ (1)	A	2014.3.23	魚津市経田沖	第8好栄丸	底引き網
サケ	マスノスケ (1)	A	2016.5.13	射水市新湊沖	招福丸	刺網
シャチブシ	シャチブシ (1)	A	2014.8.25	射水市新湊沖 水深150～300m		中層引き網
	シャチブシ (1)		2016.11.22	魚津市沖	第八松重丸	刺網
	シャチブシ (1)		2018.4.23	黒部市沖	幸洋丸	刺網
ナミノハナ	ナミノハナ (多数)	A	2008.8.13	朝日町宮崎沖	不破光大	目視
メバル	ウツカリカサゴ (1)※	B	2012.1.4	魚津市沖	第8大詰丸	刺網
	ホウズキ (1)	A	2016.8.11	滑川市笠木沖	第8喜代丸	刺網
	ホウズキ (1)		2016.8.20	滑川市笠木沖	第8喜代丸	刺網
	ホウズキ (1)		2017.5.1	滑川市笠木沖	第8喜代丸	刺網
	ホウズキ (1)		2017.10.10	魚津市沖	第八松重丸	刺網
	アカメバル (1)※	B	2011.7.16	入善町吉原沖	有限会社目合又大謀網	定置網
	クロメバル (1)※	B	2011.7.9	魚津市沖	第8大詰丸	刺網
	シロメバル (1)※	B	2011.7.16	入善町吉原沖	有限会社目合又大謀網	定置網
	タヌキメバル (1)※	B	2011.7.2	魚津市沖	第八松重丸	刺網
ホウボウ	オニカナガシラ (1)※	A	2008.3.9	富山市岩瀬沖	不破光大	釣り
コチ	ワニゴチ (1)	A	2016.9.1	魚津市沖	第8大詰丸	刺網
	ワニゴチ (1)		2017.12.11	魚津市住吉沖 水深80m	魚津水産株式会社	定置網
	ワニゴチ (1)		2017.12.11	魚津市北中沖	高峯定置網組合	定置網
ホタルジャコ	スミクイウオ (1)	A	2018.3.5	魚津市住吉沖 水深80m	魚津水産株式会社	定置網
キントキダイ	ミナミキントキ (1)	A	2017.12.28	魚津市住吉沖 水深80m	魚津水産株式会社	定置網
テンジクダイ	テツボウイシモチ (2)	A	2014.1.16	魚津市経田沖 水深60～70m	第8好栄丸	底引き網
	フウライイシモチ (1)	A	2011.12.27	魚津市経田沖 水深60～70m	第8好栄丸	底引き網
	フウライイシモチ (1)		2012.12.12	魚津市経田沖 水深60～70m	第8好栄丸	底引き網
ムツ	クロムツ (1)※	B	2011.12.29	魚津市沖	第8大詰丸	刺網
アジ	ヒレナガカンパチ (2)※	A	2011.12.19	魚津市経田沖	有限会社藤吉水産	定置網
	モロ (4)※	A	2012.1.18	富山・新潟県境沖	境市振定置網漁業組合	定置網
	クサヤモロ (1)※	A	2012.1.10	入善町吉原沖	有限会社目合又大謀網	定置網
	テンジクアジ (1)	A	2013.10.29	魚津市北中沖	高峯定置網組合	定置網
	クロヒラアジ (1)	A	2013.10.24	富山湾		定置網
	クロヒラアジ (1)		2013.10.28	魚津市沖	第十二善雄丸	刺網
シマガツオ	ヒレジロマンザイウオ (1)	A	2013.1.21	魚津市沖	第2淳伊丸	刺網
	ヒレジロマンザイウオ (1)		2013.3.22	魚津市経田沖	有限会社藤吉水産	定置網
	ヒレジロマンザイウオ (1)		2015.1.19	魚津市北中沖	高峯定置網組合	定置網
	ヒレジロマンザイウオ (1)		2017.2.28	魚津市北中沖	高峯定置網組合	定置網
	チカメチオピア (1)	A	2013.3.25	魚津市三ヶ沖	三和定置網組合	定置網
	ヒメシマガツオ (2)	A	2013.1.28	魚津市北中沖	高峯定置網組合	定置網
	ヒメシマガツオ (1)		2016.12.12	滑川市三ヶ沖	魚津水産株式会社	定置網
	ヒメシマガツオ (1)		2017.2.13	入善町吉原沖	有限会社目合又大謀網	定置網
タイ	キチヌ (1)	A	2017.10.10	魚津市住吉沖 水深80m	魚津水産株式会社	定置網
イスズミ	ノイスズミ (1)	A	2017.9.6	魚津市青島沖	仁光丸	刺網
メジナ	クロメジナ (1)	A	2015.1.15	魚津市住吉沖 水深80m	魚津水産株式会社	定置網
オオメダイ	ミナメダイ (1)	A	2013.10.15	滑川市三ヶ沖	魚津水産株式会社	定置網
ギンダラ	アラボウズ (1)	A	2016.10.18	魚津市沖 水深約300m	第八松重丸	刺網
カジカ	フタスジカジカ (1)	A	2017.2.1	魚津市青島沖 水深2.8m	木村知晴	手網
	ニホンキンカジカ (1)※	B	2012.1.15	魚津市経田沖	第8好栄丸	底引き網
ニシキギンボ	タケギンボ (2)※	A	2011.5.12	魚津市三ヶ地先	木村知晴	手網
ネズツボ	ヤマドリ (1)	A	2016.11.10	魚津市本町沖 水深5m	木村知晴	手網
	ヤマドリ (1)		2017.5.10	魚津市本町沖 水深6m	木村知晴	手網
ハゼ	ホロヌメリ (1)	A	2013.4.14	魚津市経田沖	第8好栄丸	底引き網
	カマヒレミズハゼ (1)	A	2013.12.2	魚津市北鬼江海岸	木村知晴	手網
	カマヒレミズハゼ (1)		2014.3.4	魚津市北鬼江海岸	木村知晴	手網
	ミジンベニハゼ (1)	A	2014.1.15	魚津市経田沖	第8好栄丸	底引き網
クロホシマンジュウダイ	クロホシマンジュウダイ (1)	A	2012.1.13	魚津市青島沖	仁光丸	刺網
	クロホシマンジュウダイ (1)		2015.9.15	富山湾		
カレイ	ナガレメイトガレイ (1)※	B	2012.1.13	魚津市北中沖	高峯定置網組合	定置網
フグ	ムシフグ (1)	A	2012.6.9	魚津市三ヶ沖	三和定置網組合	定置網
	ムシフグ (1)		2013.5.11	魚津市経田沖	有限会社藤吉水産	定置網
	ムシフグ (1)		2015.8.22	魚津市沖		定置網
	アミメフグ (2)	A	2013.1.28	魚津市北中沖	高峯定置網組合	定置網
	アミメフグ (1)		2013.3.1	魚津市北中沖	高峯定置網組合	定置網
	クオサバフグ (1)	A	2012.6.9	魚津市住吉沖 水深80m	魚津水産株式会社	定置網
ハリセンボン	メイトイシガキフグ (1)	A	2012.9.26	魚津市沖		定置網
	メイトイシガキフグ (1)		2016.11.25	魚津市経田沖	有限会社藤吉水産	定置網
	イガグリフグ (1)	A	2014.12.15	魚津市経田沖	第8好栄丸	底引き網
29科	48種					

魚津水族博物館年報 第 29 号

ANNUAL REPORT OF AQUARIUM No.29

2020 年 8 月 編集

編集／魚津水族博物館

〒937-0857 魚津市三ヶ 1390

TEL (0765) 24-4100

FAX (0765) 24-4128

HP <http://uozu-aquarium.jp>

E-mail suizoku@city.uozu.toyama.jp